

『義塾百話』～平成の慶應～を読まれて

【感想の御言葉】

■ 慶應義塾大学 法学部教授 小林 節 先生からのお電話

いろいろと知識の多い本はたくさんあるが、これは、本当に「本物」だと思った。すべてが本当に深い洞察に裏うちされていて、文字がキラキラと輝いてみえた。

彗星のように現ってきた。全部読んでから、富田君あてに感想を送るつもりだったが、10篇ぐらい読んで、あまりにすばらしいので電話をかけてしまった。

例えば、自分も「自己実現」という言葉をよく講義で使っているが、天川先生の「自己実現」という言葉の方が、はるかに深い。でも、自分も、もう本を読んで知ったので、これからは、あたかも自分のもののようにガンガン使わせていただくなつもりである。
(笑)真理とはそういうものだと思うから。

本当に一つ一つが、様々な悩みや苦しみの中から思索されたものだと感じ、感動した。これが、自分よりも20才も若い人間が書いたかと思うと、思わずドキッとしてしまう。

いつも、自分には、いろいろな本が送られてくるが、しかも、非常に忙しい中で、自分がこうして直接電話をかけてしまうというこの意味をよく考えてほしい。

■ 元憲法学会理事 小森 義峯 先生からのお手

紙

拝復

先日は、御著「義塾百話」を御恵贈頂き、誠に有難うございました。日本国は「八百万の神々の国」であり、「日の御子」であられる天皇を中心に「祭政」尊重型民主主義を基本原理として国政を行すべきだ、という哲理が、各エッセイの到る処に満ち溢れています。全く同感を禁じ得ず、感銘いたしております。

どうか、天川貴之先生に、今後、益々、御活躍頂きますよう、宜しくお伝え下さい。敬具